

令和6年度庄内地域栄養・食生活関連事業研修会
令和6年度庄内保健所管内中堅期・管理期保健師研修会
令和6年度庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会第2回研修会

参加費無料

災害時等の健康危機管理に資す 栄養・食生活支援を考える

～「もしも」の備えを「いつも」にするために～

開催日時 令和6年9月3日(火) 午後1時30分から午後4時30分
会場 三川町子育て交流施設テオトル 多目的ホール(三川町大字押切新田字桜木8-1)

講演

講演1

「いざという時どうする？あなたの食と栄養」

講師 (公財)味の素ファンデーション
被災地復興応援事業マネージャー 原 裕樹 氏

講演2

「災害栄養支援活動の実際について
～日本栄養士会JDA-DAT活動～」

講師 (公社)山形県栄養士会 JDA-DATリーダー
鶴岡市立荘内病院 管理栄養士 富樫 博子 氏

講演3

「大規模災害発生時の避難所運営や
日常の防災対策における女性の視点」

講師 山形大学 地域教育文化学部
教授 石垣 和恵 氏

県事業 の紹介

『山形県の防災啓発と減災のための取組み』
山形県庄内総合支庁 総務課防災安全室

ワーク ショップ

「次の災害に備えるための『いつも』『もしも』
ワークショップ(仮)」

講師 (公財)味の素ファンデーション
被災地復興応援事業マネージャー 原 裕樹 氏

申込方法

左記の二次元バーコードから申請画面にアクセスして
お申込みください。



「やまがた e 申請」
↓QRコード↓



○個人情報の取扱いについて

- ・申込みの際にお知らせいただきました個人情報は、本イベントの運営に関する以外には使用しません。
- ・お知らせいただいたご本人の同意がある場合を除いては第三者に開示しません。
- ・提供していただいた個人情報は適切に管理し、漏えい、紛失等のないよう努めます。

【お問い合わせ先(事務局)】

庄内保健所 保健企画課 健康増進担当
TEL0235-66-5476 FAX0235-66-4935

又は 庄内総合支庁 総務企画部総務課 防災安全室
TEL0235-66-4791 FAX0235-66-2835

講師紹介



公益財団法人味の素ファンデーション 被災地復興応援事業マネージャー 原 裕樹 氏

CVS 業界、外食業界の経験を経て、2007 年に味の素株式会社に入社。外食、中食向けビジネスの営業、エリアマーケティングを首都圏、東北エリアで従事した後、業務用事業部にて大手フードサービス企業へのソリューション営業を实践。2023 年より現職。自身の阪神大震災での被災経験と培ってきた食の現場感を活かして、食と栄養を通じた災害復興、食の防災の啓発活動を推進中。

公益社団法人山形県栄養士会 JDA-DATリーダー 鶴岡市立荘内病院 診療部栄養科 副科長(管理栄養士) 富樫 博子 氏

◎学歴：郡山女子大学短期大学部家政科食物栄養専攻卒業、東京医療保健大学大学院医療保健学研究科医療栄養学コース修了。修士（医療栄養学）。

◎職歴：鶴岡市入職、鶴岡市学校給食センター、鶴岡市健康福祉部社会児童課を経て、2002 年 4 月より鶴岡市立荘内病院診療部栄養科

◎認定資格など

- ◆（公社）日本栄養士会認定
静脈経腸栄養（TNT-D）管理栄養士、JDA-DAT（日本栄養士会災害支援栄養チーム）リーダー
- ◆（一社）日本病態栄養学会認定
病態栄養専門管理栄養士、NST コーディネーター
- ◆（一社）日本病態栄養学会・（公社）日本栄養士会認定
がん病態栄養専門管理栄養士、がん病態栄養専門管理栄養士研修指導師
- ◆（一社）日本栄養治療学会認定
NST 専門療法士、栄養治療専門療法士（がん専門療法士）

山形大学 地域教育文化学部 教授 石垣 和恵 氏

◎学歴：山形大学教育学部卒業、山形大学大学院教育学研究科修士課程修了。修士（教育学）。

◎職歴：山形県公立高校教諭、山形大学地域教育文化学部講師、准教授を経て、2024 年より教授。専門は家庭科教育。

◎その他：山形大学災害環境科学研究ユニット研究員。防災士。2022 年度から山形県防災士養成講座講師。山形大学公開講座「地域防災力向上セミナー」講師。

◎研究：防災の視点を取り入れた家庭科教育プログラム開発（家庭科教育をコアとする防災教育のカリキュラムマネジメント、小学校家庭科におけるワークショップ型の防災教育カリキュラムの開発など）

◎教育活動：地域教育文化学部 3 年必修フィールドプロジェクトとして、2023 年度から E5「防災とまちづくり」を開講・担当し、小白川キャンパス内での炊出し活動などを実施。

◎著書：共著「小学校家庭科教育法」建帛社 2018、共著「UD 授業から減災授業へ 共生社会を目指す実践研究」一藝社 2020、共著「求められる家庭科の変革 高校家庭科教科書の検討から」ドメス出版 2023、その他 小中高校の家庭科教科書の執筆・校閲を担当。